

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3162773号
(U3162773)

(45) 発行日 平成22年9月16日(2010.9.16)

(24) 登録日 平成22年8月25日(2010.8.25)

(51) Int.Cl. F 1
A 2 3 L 1/00 (2006.01) A 2 3 L 1/00 G

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2010-4528 (U2010-4528)
(22) 出願日 平成22年7月5日(2010.7.5)(73) 実用新案権者 594102371
後藤 良昭
愛知県名古屋市名東区山の手3丁目130
1の2
(74) 代理人 100080045
弁理士 石黒 健二
(72) 考案者 後藤 良昭
名古屋市名東区山の手3丁目1301-2

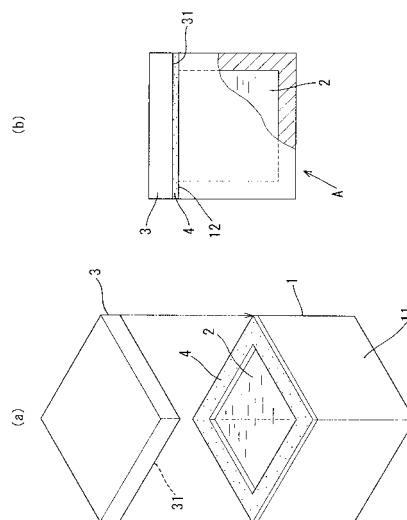
(54) 【考案の名称】 食材封入カプセル

(57) 【要約】

【課題】移送中に破損し難く、飲食物が入った器に投入して、簡単にカプセルから内容物を流出させることができる食材封入カプセルの提供。

【解決手段】コーヒー用カプセルAは、寒天基材で容器壁11を形成した容器1と、容器1内に入れられるガムシロップ2と、容器開口を塞ぐ寒天基材製の蓋板3と、容器1と蓋板3とを接着する食用接着剤4とを備え、ホットコーヒーが入ったカップへ投入すると、容器1や蓋板3が溶解してガムシロップ2がホットコーヒーと混ざるので手間がかからない。また、容器1や蓋板3が溶解するためゴミにならない。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

寒天基材で容器壁を形成し、上部が開口した容器と、
容器内に入れられる内容物と、
容器開口を塞ぐための寒天基材製の蓋板と、
前記容器壁の上端面と前記蓋板の縁部下面とを接着する食用接着剤とを備えた食材封入カプセル。

【請求項 2】

寒天基材で容器壁が形成され、有底筒状を呈する容器と、
容器内に入れられる内容物と、
容器開口を塞ぐための寒天基材製の蓋板と、
前記容器壁の上端面と前記蓋板の縁部下面とを接着する食用接着剤とを備えた食材封入カプセル。

【請求項 3】

前記内容物は、具、調味料、フレッシュ、またはガムシロップであることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の食材封入カプセル。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、飲食物（コーヒーや即席麺など）に投入して、飲食物を美味しくするための食材封入カプセルに関する。

【背景技術】**【0002】**

例えば、ホットコーヒーは、ブラックだと苦いので、フレッシュ（コーヒーミルク）と、砂糖（角砂糖、ガムシロップ、スティックシュガー）を入れて飲むことが多い。

また、アイスコーヒーも、ブラックだと苦いので、フレッシュ（コーヒーミルク）と、溶けやすいガムシロップを入れて飲むことが多い。

【0003】

フレッシュやガムシロップは、通常、密閉容器に入っているので、封入片をめくって入れる必要があるのでは面倒であるとともに、上手く開封しないと指や衣服に付いてしまう虞がある。また、空容器がゴミになる。

スティックシュガーは、スティック状の袋に入っているので、袋を破って入れる必要があるのでは面倒であるとともに、上手く破らないとこぼれてしまう。また、空袋がゴミになる。

特許文献 1 には、カプセル内に内容物を封入した可食性カプセルが開示されている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献 1】特開平 6 - 5 6 6 5 2 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

上記特許文献 1 は、下記の課題を有する。

ボディとキャップとを嵌合させてハードカプセルとしているので、内容物をフレッシュやガムシロップとした場合、製造に手間がかかる。

コーヒーが入ったカップに投入した際に、直ぐ分解する様にカプセルの溶解性を高めると、カプセル強度が低下するので移送中に破損し易くなる。

また、移送中の破損を防止するために、カプセル強度を上げると、カプセルの溶解性が低下するので、コーヒーが入ったカップに投入した際に、カプセルが直ぐに分解しない。

10

20

30

40

50

【 0 0 0 6 】

本考案の目的は、移送中に破損し難く、飲食物が入った器に投入して、簡単にカプセルから内容物を流出させることができる食材封入カプセルの提供にある。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 7 】

(請求項1について)

食材封入カプセルは、容器と蓋板とを接着している。

寒天基材で容器壁を形成した容器は、上部が開口している。

容器内には食材である内容物が入れている。

容器壁の上端面と蓋板の縁部下面とを食用接着剤で接着し、容器開口を寒天基材製の蓋板で塞いでいる。

10

【 0 0 0 8 】

例えば、ホットコーヒーが入ったカップへ食材封入カプセルを投入すると、容器や蓋板が溶解し、容器内の内容物がホットコーヒーと混ざる。

これにより、ホットコーヒーが入ったカップへ食材封入カプセルを投入するだけで、容器内の内容物がホットコーヒーと混ざるので手間がかからない。なお、容器や蓋板が溶解するためゴミにならない。

【 0 0 0 9 】

また、飲食物がアイスコーヒーの場合には、食材封入カプセルをグラスへ投入した後、ストロー等で蓋板を突いて破り、内容物を容器からグラス内のアイスコーヒーへ流出させる。

20

これにより、食材封入カプセルをグラスへ投入した後、ストロー等で蓋板を突いて破れば、内容物が容器からグラス内のアイスコーヒーへ流出するので手間がかからない。なお、容器や蓋板がグラスから出ていないので片づけ易い。

【 0 0 1 0 】

容器壁の上端面と蓋板の縁部下面とを食用接着剤で接着して、内容物を入れた容器の開口を寒天基材製の蓋板で塞ぐ構造であるので、製造に手間がかからないとともに、カプセル強度が高く、移送中に破損し難い。

【 0 0 1 1 】

(請求項2について)

食材封入カプセルは、容器と蓋板とを接着している。

容器は、容器壁を寒天基材で形成し、有底筒状を呈する。

容器内には内容物が入れている。

容器壁の上端面と蓋板の縁部下面とを食用接着剤で接着し、容器開口を寒天基材製の蓋板で塞いでいる。

30

【 0 0 1 2 】

例えば、ホットコーヒーが入ったカップへ食材封入カプセルを投入すると、容器や蓋板が溶解し、容器内の内容物がホットコーヒーと混ざる。

これにより、ホットコーヒーが入ったカップへ食材封入カプセルを投入するだけで、容器内の内容物がホットコーヒーと混ざるので手間がかからない。なお、容器や蓋板が溶解するためゴミにならない。

40

【 0 0 1 3 】

また、飲食物がアイスコーヒーの場合には、食材封入カプセルをグラスへ投入した後、ストロー等で蓋板を突いて破り、内容物を容器からグラス内のアイスコーヒーへ流出させる。

これにより、食材封入カプセルをグラスへ投入した後、ストロー等で蓋板を突いて破れば、内容物が容器からグラス内のアイスコーヒーへ流出するので手間がかからない。なお、食材封入カプセルは、容器が有底筒状を呈しているので、アイスコーヒーが入ったグラスへ投入した際に、蓋板が上側にある状態に維持できる。また、容器や蓋板がグラスから出ていないので片づけ易い。

50

【 0 0 1 4 】

容器壁の上端面と蓋板の縁部下面とを食用接着剤で接着して、内容物を入れた容器の開口を寒天基材製の蓋板で塞ぐ構造であるので、製造に手間がかからないとともに、カプセル強度が高く、移送中に破損し難い。

【 0 0 1 5 】

(請求項 3 について)

内容物は、具、調味料、フレッシュ、またはガムシロップである。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 6 】

【図 1】(a)、(b)は、本考案の実施例 1 に係る食材封入カプセルの説明図である。

10

【図 2】(a)、(b)は、本考案の実施例 2 に係る食材封入カプセルの説明図である。

【図 3】本考案の実施例 1、2 に係る食材封入カプセルを、ホットコーヒーが入ったカップへ投入する様子を示す説明図である。

【図 4】本考案の実施例 1、2 に係る食材封入カプセルを、アイスコーヒーが入ったグラスへ投入する様子を示す説明図である。

【図 5】(a)、(b)は、食材封入カプセルの変形例である。

【実施例 1】

【 0 0 1 7 】

本考案の実施例 1 (請求項 1、2、3 に対応) に係るコーヒー用カプセル A を、図 1、図 3、図 4 に基づいて説明する。

20

コーヒー用カプセル A は、容器 1 と、容器 1 内に入れられるガムシロップ 2 と、蓋板 3 と、容器 1 と蓋板 3 とを接着する食用接着剤 4 とからなり、立方体形状を呈する(図 1 参照)。

【 0 0 1 8 】

容器 1 は、寒天基材で容器壁 1 1 を形成している。

ガムシロップ 2 は、アラビアガム等によって粘着性をもたせ、長期保存においても砂糖の結晶が沈殿しないようにした砂糖液である。

【 0 0 1 9 】

蓋板 3 は、上面および下面が正方形を呈する板であり、寒天基材で形成されている。

食用接着剤 4 は、容器壁 1 1 の上端面 1 2 と蓋板 3 の縁部下面 3 1 とを接着するためのものである。

30

【 0 0 2 0 】

ホットコーヒー h が入ったカップ c へコーヒー用カプセル A を投入すると、寒天基材が熱で溶解するため、容器 1 や蓋板 3 が溶解し、容器 1 内のガムシロップ 2 がホットコーヒー h と混ざる(図 3 参照)。

このため、コーヒー用カプセル A をカップ c へ投入するだけで、容器 1 内のガムシロップ 2 がホットコーヒー h と混ざるので手間がかからない。また、容器 1 や蓋板 3 が溶解するためゴミにならない。

【 0 0 2 1 】

また、氷 f 入りのアイスコーヒー i の場合には、寒天基材製の容器 1 や蓋板 3 が溶解しないため、コーヒー用カプセル A をグラス d へ投入し、蓋板 3 が上側になる様に沈め、ストロース s の先で蓋板 3 を突いて破る(図 4 参照)。

40

これにより、ガムシロップ 2 が容器 1 からグラス d 内のアイスコーヒー i へ流出するので手間がかからない。なお、容器 1 や蓋板 3 がグラス d から出ていないので片づけ易い。

【 0 0 2 2 】

このコーヒー用カプセル A は、容器壁 1 1 の上端面 1 2 と蓋板 3 の縁部下面 3 1 とを食用接着剤 4 で接着して、ガムシロップ 2 を入れた容器 1 の開口を寒天基材製の蓋板 3 で塞ぐ構造であるので、製造に手間がかからないとともに、カプセル強度が高く、移送中に破損し難い。

50

【実施例 2】

【0023】

本考案の実施例 2（請求項 1、2、3 に対応）に係るコーヒー用カプセル B を、図 2、図 3、図 4 に基づいて説明する。

コーヒー用カプセル B は、容器 5 と、容器 5 内に入れられるフレッシュ 6 と、蓋板 7 と、容器 5 と蓋板 7 とを接着する食用接着剤 8 とからなり、外観が円柱形状を呈する（図 2 参照）。

【0024】

断面が円形の容器 5 は、容器壁 5 1 が寒天基材で形成され、有底円筒状を呈する。

フレッシュ 6 は、コーヒー用のミルク（液状）である。

蓋板 7 は、上面および下面が円形を呈する円板であり、寒天基材で形成されている。

食用接着剤 8 は、容器壁 5 1 の上端面 5 2 と蓋板 7 の縁部下面 7 1 とを接着するためのものである。

【0025】

ホットコーヒー h が入ったカップ c へコーヒー用カプセル B を投入すると、寒天基材が熱で溶解するため、容器 5 や蓋板 7 が溶解し、容器 5 内のフレッシュ 6 がホットコーヒー h と混ざる。

このため、コーヒー用カプセル B をカップ c へ投入するだけで、容器 5 内のフレッシュ 6 がホットコーヒー h と混ざるので手間がかからない。また、容器 5 や蓋板 7 が溶解するためゴミにならない。

【0026】

また、氷 f 入りのアイスコーヒー i の場合には、寒天基材製の容器 5 や蓋板 7 が熱で溶解しないため、コーヒー用カプセル B をグラス d へ投入し、蓋板 7 が上側になる様に沈め、ストロー s の先で蓋板 7 を突いて破る。

これにより、フレッシュ 6 が容器 5 からグラス d 内のアイスコーヒー i へ流出するので手間がかからない。なお、容器 5 や蓋板 7 がグラス d から出ていないので片づけ易い。

【0027】

このコーヒー用カプセル B は、容器壁 5 1 の上端面 5 2 と蓋板 7 の縁部下面 7 1 とを食用接着剤 8 で接着して、フレッシュ 6 を入れた容器 5 の開口を寒天基材製の蓋板 7 で塞ぐ構造であるので、製造に手間がかからないとともに、カプセル強度が高く、移送中に破損し難い。

【0028】

（変形例）

a．コーヒー用カプセル C は、上から見た形が星形でも良い（請求項 1、2、3 に対応：図 5 の（a）参照）。

コーヒー用カプセル D は、横から見た形が略 U 字状でも良い（請求項 1、3 に対応：図 5 の（b）参照）。

b．容器内に入れる内容物は、その他、具、調味料、蜂蜜、粉末状の砂糖、生クリーム粉末、レモン汁、食品色素液体などでも良い。

c．飲食物は、即席麺、即席焼きそば、即席饅頭、スープなどでも良い。なお、飲食物が冷たい場合や液状でない場合は、箸などで食材封入カプセルの蓋板を破って内容物を流出させれば良い。

【符号の説明】

【0029】

A、B コーヒー用カプセル（食材封入カプセル）

1、5 容器

2 ガムシロップ（内容物）

3、7 蓋板

4、8 食用接着剤

6 フレッシュ

10

20

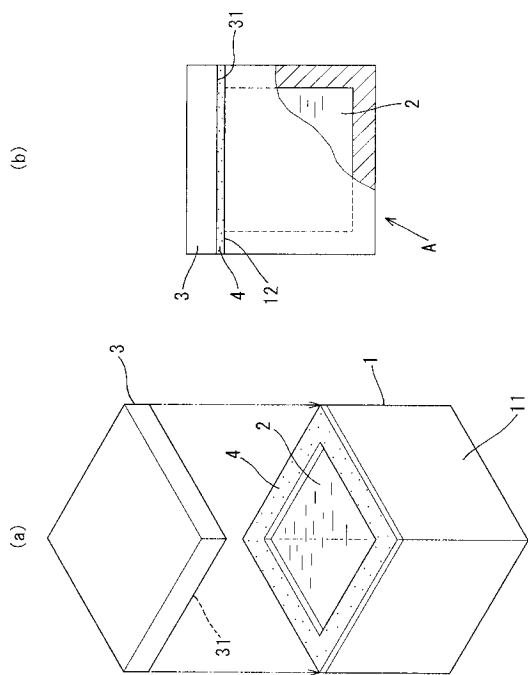
30

40

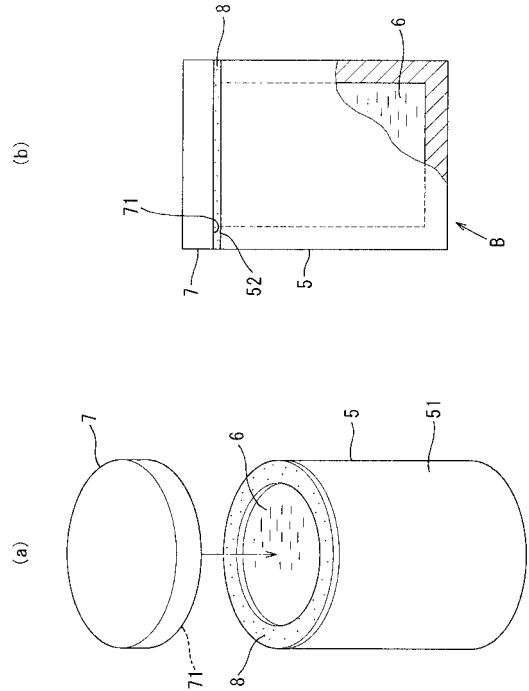
50

- 1 1、5 1 容器壁
- 1 2、5 2 上端面
- 3 1、7 1 縁部下面

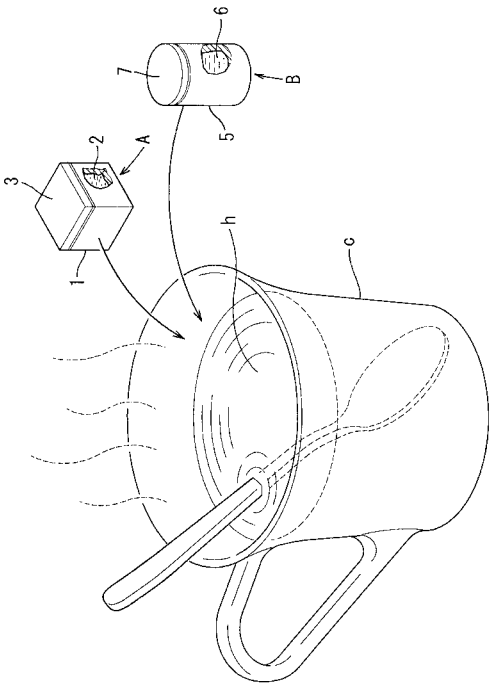
【 図 1 】



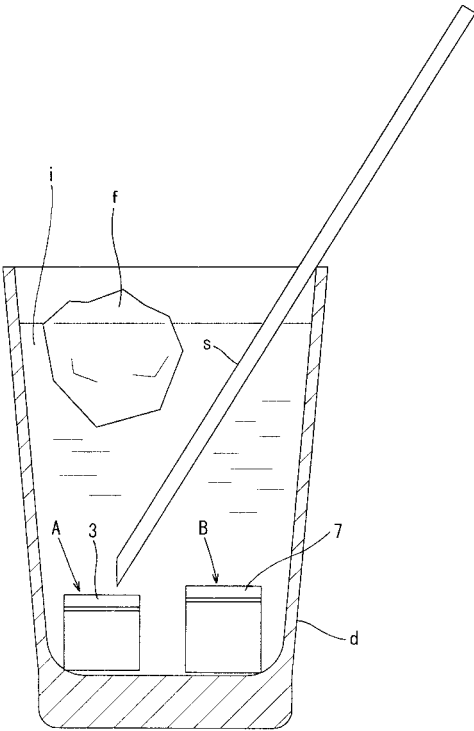
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

